

養殖業用の魚病予防装置開発！

合名会社ミナミ無線電器商会：宮崎県

どのような取り組み？

- もともと、電気、電子機器の販売・メンテナンス業を営んでいた。
- トラフグの病死や寄生虫に悩む養殖業者から、何とか魚病を減らす方法はないかと相談されたことをきっかけに、技術開発に取り組む計画を立てた。
- もともと、微弱電流の扱いを研究していたこともあり、その技術を利用した、電流による魚病予防新システムの開発に挑戦した。

承認を受けたメリットは？

- 承認を受けたことをきっかけに、業界誌などで取り上げられ、問い合わせが急増。計画の追い風となった。
- 補助金、低利融資を活用し、技術開発を推進することができた。



高齢者向けの緊急通報システム開発！

周南マリコム株式会社：山口県

どのような取り組み？

- もともと、ポータルラジオ局と呼ばれる、港湾での船舶の安全航行をサポートする無線局を運営していた。
- 高齢化対策は今後の大きなマーケットになると考え、既存事業を活用した独居高齢者向けの緊急通報システムの開発に挑戦した。
- 高齢者宅にボタン付き端末を設置し、高齢者が相談時や緊急時にボタンを押すことで、24時間いつでもオペレーターと通話できるシステムを開発。

承認を受けたメリットは？

- 承認を受けたことにより企業のブランドイメージが高まり、人材が確保しやすくなった。
- 承認を受けたことにより、市町村からの信頼が高まったことで、新規委託契約を取りやすくなった。
- 補助金、低利融資を活用し、開発・広報に役立てることができた。



温泉旅館の個人客向けリニューアル！

有限会社高蔵内ホテル：福島県

どのような取り組み？

- 開業以来、28室100人収容の旅館として営業していた。主たる客層は湯治客。建物の老朽化により、客数が減少傾向にあった。
- そこで、若者にも客層を広げ、他の旅館との差別化を図るため、リニューアルを行った。
- リニューアルにあたっては、「癒しの湯」をコンセプトとし、外気を太陽光により暖める床暖房システムや、内装を自然素材に、また自家菜園で宿泊客が摘んだ作物を料理として提供するなどのサービスを始めた。
- また、収容人数を10室40人とし、ゆったりとくつろげる宿を目指した。

承認を受けたメリットは？

- 新しいコンセプトの計画が県から承認されたことにより、計画に対する自信が深まった。
- 低利融資を活用し、改築資金に役立てることができた。また、承認を機に信用が高まり、地元金融機関からの借入にもつながった。

